



# 松 明

(令和6年1月発行・隔月発行) 2024 vol. 1



P4 サンタが今年もやってきた！！より

## 「令和6年 年頭のごあいさつ」

独立行政法人国立病院機構福島病院 病院長 杉浦嘉泰



新年明けましておめでとうございます。昨年は世界全体で大きな変化が起こった年でした。地球温暖化による気候変動は農業や漁業への影響のみならず、私たちの日常生活においても熱中症のリスクが高まり屋外活動を控える等これまでにない対策を講ずる必要が出てきました。また、各地での紛争は、私たちの生活にも様々な影響を及ぼしております。一方、COVID-19 パンデミックはワクチンの普及もあり徐々に終息に向かい、我が国でも昨年5類感染症に移行し社会活動も戻りつつあります。当院でも入院患者さんの感染防御のため、2020年からリモート面会のみで制限しておりましたが、昨年からは外来での面会を再開することができました。また、感染対策で縮小していた重症心身障害児病棟での療育活動も再開しており、入院患者さんへの取り組みは徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあります。

当院は厚生労働省が定めた政策医療の中で、特に重症心身障害と神経難病を中心としたセーフティネット系医療に取り組んでおります。我が国では少子化により小児

人口は減少傾向にありますが、医療的ケア児は年々増加しております。一方、昨年末に公表された福島県の将来推計人口では、65歳以上の高齢者の割合が更に増加し2040年には4割を上回ることが見込まれております。高齢者人口の増加に伴いパーキンソン病などの神経難病の患者さんは、今後も増加していくと考えられております。こうしたことから重症心身障害児(者)医療や神経難病医療の社会的ニーズはますます高まっております。当院は医療的ケア児の入院療養に加えレスパイト入院などの在宅医療支援や、神経難病の診断・治療に積極的に取り組んでおり、地域の医療機関と連携して福島県のセーフティネット系医療に貢献できるよう、職員一同努めて参ります。

本年はポストコロナの年として、コロナ禍でのさまざまな経験を受けて、新しい生活様式や価値観で世の中が動き出すと思われれます。皆様の更なる飛躍の年になりますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。

### 本号のご案内

● 令和6年 年頭のごあいさつ	1	● 健康プラザ 災害に備えて	4
● 新年を迎えて「今年の抱負」	2	● 2023年を振り返って	5
● 療育だより 祝 七五三！	3	● 院長賞を受賞して	5
不思議の国へようこそ in 福島病院	3	● 外来担当医表	6
サンタが今年もやってきた！！	4		

## 納得の医療で地域や社会に貢献

### 病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

# 新年を迎えて「今年の抱負」



リハビリテーション科  
理学療法士長  
**小野崎 文彦**  
(おのざき ふみひこ)

●明けましておめでとうございます。

コロナウィルスを始め感染症が依然として流行していますが、少しずつ春が近づいているように感じます。

今年の干支は「甲辰（きのえたつ）」になります。「甲」は、十干において1番目にあたり、物事の始まりや成長という意味があるそうです。「辰」は、十二支の中で唯一の空想上の生き物であり、権力・隆盛の象徴とされています。

感染症が収束し、経済や社会活動が再開し成長することで、明るいニュースが増え希望の春が訪れることを切に願います。

私も、福島病院に赴任して3年が経とうとしています。業務にも慣れてきたところもありますので、仕事だけではなく健康第一に考え感染症に負けずに心身の健康管理をしっかり行って健康的に一年が過ごせるように頑張っていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしく申し上げます。



療育指導室  
児童指導員  
**長沼 真歩**  
(ながぬま まほ)

●新年あけましておめでとうございます。新社会人として入社してからもうすぐ1年となります。非常に短くあっという間の時間でした。療育指導室長をはじめ、指導室の先輩方、多職種のスタッフの皆様、病院外の関係機関の皆様、そして患者様から多くの事を学ばせていただき、支えていただいたことにより充実した時間を過ごすことができました。辰年は陽の気が動いて万物が振動するため、活力旺盛となり大きく成長し、形が整う年だとされているそうです。昨年は様々な業務の中で自分の勉強不足を痛感しましたが、今年は約1年の経験を活かし、色々な事に対応できるようになり、大きく成長する年にしたいと思っています。2024年も貪欲に学ぶ姿勢と入社した時の気持ちを忘れず、よりよい療育活動を提供させていただけるよう頑張ります。改めまして、2024年もよろしく申し上げます！



第3病棟  
看護師  
**降矢 幸子**  
(ふるや さちこ)

●新年明けましておめでとうございます。

2024年の「辰年」は昨年までの努力してきたことが実を結んで成就する年になるようなので、希望を持って毎日過ごしていきたいです。

私は福島病院に入職してから、早いもので約15年になります。15年の間に出産・育児などさまざまなイベントがあり、長いようであっという間でした。育児をしながらの仕事は大変なこともありましたが、ここまで頑張ってくることができたのは、あたにかい病棟スタッフの支えがあったからです。また、患者様の素敵な笑顔や優しい言葉もとても励みになりました。

まだまだ感染拡大などが続いており、以前のようにはいきませんが、適度に息抜きもしながら、日々の患者様とのコミュニケーションを大切に今後も自分らしく精進して参りたいと思います。

本年も宜しくお願い致します。



薬剤科長  
**大塚 誠二**  
(おつか せいじ)

●謹賀新年

今年は定年を来春に控え、私にとって特別な意味を持つと思っていましたが、元旦から様々な事が起こり驚きと落胆のスタートになってしまいました。これからはすべての方に良い事があることを心から願っております。





去る11月29日、6病棟にて女の子の七五三のお祝いを御家族とともに行いました！御家族より可愛い黄色のドレスと華やかな髪飾りをご準備していただき、会が始まるまで写真撮影や生まれたところからのスライドショーをじっくりと見るなど御家族で過ごされていました。コロナ禍により面会制限があるため、久しぶりに御家族で和やかな時間を過ごすことができたのではないかと思います。

式が始まると、普段とは違うプレイルームの様子やスタッフの雰囲気に対しドキドキしながらも、手作りの鳥

居で参拝！御祈祷の時間となると、神主様の格好をした石井副病院長が登場し見慣れぬ姿に驚きつつも、しっかりと神主様を目で追ひ、御家族と一緒にご祈祷を受けられました。

式の最後には御家族と千歳飴を食べることに。とても上手な舌の動きで舂める様子が見られ、御家族やスタッフから「かわいい」の声で溢れました。七五三のお祝いを御家族と一緒に行うことができ、心から光栄に思います。今後も患者様と御家族の気持ちを考えた支援を行っていききたいと思います。



寒冷の候、福島病院では12月1日より重症児（者）病棟で、今年度最後の行事の一つである、イルミネーションを療育棟で行いました！今年は、不思議の国のアリスをテーマに、各病棟で作ったキャンドルをはじめ、ブラックライトで光る不思議なトンネル、ビニールを使って光反射が見られる不思議な部屋、大きな木にトランプ兵や電飾、ペットボトルで作られた光る不思議なツリー等沢

山のブースを設けました。療育棟に入ると一気に患者様の表情がキラキラ輝き、目で光を追う姿や皆で作った製作物を目で見つめる姿がとても印象的でした。患者様が日常では経験できない楽しいひと時を過ごすことができましたと思います。今後も患者様へ季節感のある行事を丁寧大切にしていきたいと思いました。



重症心身障がい児(者)病棟に、今年もサンタがやってきました。

クリスマス前には、患者様と一緒にクリスマスツリーの飾りつけ、リース作りと明るい装飾で温かい雰囲気に変!

当日は、患者様がクリスマスのコスチュームを身につけ、ゲームや音楽に合わせて鈴やハンドベルの音色を楽しみました。栄養管理室からのクリスマスケーキの提供にも笑顔が見られましたが、最も笑顔が多く見られたのは、サンタがやってきた瞬間です! 鈴の音と共に『メリークリスマス!』の声と工夫を凝らしたサンタの登場に、一瞬驚いた表情の患者様や嬉しそうな笑顔の患者様など、一人ひとり違った表情やリアクションが見られました。サンタとの記念撮影では、満面の笑顔の患者様と一緒に笑顔でポーズをとるスタッフの姿も印象的でした。

次年度も患者様に喜んでいただけるよう、活動内容を工夫しスタッフ一同笑顔で提供して参りたいと思います。

メリー  
クリスマス♪



おいそうな  
クリスマスケーキ



2011年の東日本大震災で災害備蓄食の必要性が見直され、自宅でも常備している方も多いと思います。栄養管理室でも緊急時に提供する食事として災害備蓄食を3日分常備しています。形態調整食用の備蓄食品は少ないため、期限の長い介護食用のレトルトパウチなどを利用し、災害備蓄食備蓄としています。

毎年9月1日には、防災の日に合わせて災害時のシミュレーションを兼ねて昼食に災害備蓄食を提供しています。患者様に試食していただき味と食感の確認を、厨房スタッフは調理方法、必要物品を確認するようにして

います。備蓄するだけではなく、実際に作って食べて、作り方と味、食感を確認しておくを使い勝手もわかりよいかもかもしれません。また、災害備蓄食を準備する際は、主食、主菜、副菜の栄養バランスも考えて食品を選ぶことが大切です。災害時は炭水化物中心となりやすいため、蛋白質とビタミン類を意識して準備するとよいでしょう。災害備蓄食も種類が増え、おにぎりやパン、スイーツなども販売されているので好みに合ったものを探してみてください。

● 防災の日に提供した常食



左下: ご飯、左上: いわしの煮付、右下: トマトスープ、右上: ひじきのふっくら煮

● 災害の日に提供した  
形態調整食 (ペースト食)



左下: ミキサー粥、左上: 野菜のクリーム煮、中央: 白花豆煮、右下: ブロッコリーのサラダ、右上: バニラムース

● 防災の日に提供した災害備蓄食



# 2023年を振り返って

管理課 庶務係 玉川 詩織

当院では、毎年その年に起こった印象的な出来事「福島病院 10大ニュース」を、全職員の投票をもとに決定しております。2023年は以下の通りになりました。

1	正面玄関庇延長等工事		
2	コロナ5類移行による行事再開 ●3年ぶりに対面面会再開 ●高校生1日看護体験再開 ●行事に家族が参加	6	学会発表の増 ●第77回国立病院総合医学会 ●北海道東北地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会・神経難病学会・重心学会・日本神経学会・日本作業療法学会・日本臨床神経生理学会
3	患者数増による収支黒字の継続 ●レスパイト新規契約件数アップ ●収支黒字の継続	7	看護師確保対策の強化 ●関東甲信越地域への採用活動の拡大 ●1施設の看護学生実習締結
4	栄養士の病棟への半常駐	8	看護師定数確保
5	eラーニングシステム（動画研修）の導入	9	勤怠管理システム導入
		10	小児在宅医療実技講習会 【日時】2023年6月25日（日）9:00～16:00

## 院長賞を受賞して

この度、近隣クリニック挨拶回りで CTMRI 外部委託検査の新規契約が増加した件により院長賞を頂くことになりました。ご協力いただいた方々へ御礼申し上げます。近隣クリニックへ直に訪問し、先生方のお話を伺うことができたのは、こちらにとっても良い経験になりました。今回得られた経験と情報を元に、必要な時に必要な画像診断を届けられるよう大型医療機器共同利用を推進し、地域医療への貢献に努めていきたいと思っております。

放射線科 副診療放射線技師長 穂積彰



この度、院長賞を受けましたことを心より感謝申し上げます。

当院は、地域医療連携の一環として近隣の医療機関の皆様へ医療機器を有効に利用して頂くために CT や MRI の検査予約を行っております。患者様からは「待ち時間がなくて嬉しい」「スムーズに検査ができてよかった。」等の声が聞かれます。これからも患者様の気持ちに寄り添った関りを大事にしていきたいと思っております。地域の患者様が安心して継続医療が受けられるように地域の医療機関と信頼と繋がりを大切にしながらチーム一丸となり地域の皆様のために取り組んでいきたいと思っております。

地域医療連携室係長 降矢美恵





## ●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和6年1月1日現在】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋			安田千尋
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	杉浦嘉泰	伊藤英一		杉浦嘉泰
小児科		福島医大	石井勉 氏家二郎 (第2・4)	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)			石井勉 氏家二郎 (第2・4)			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2)		
小児専門外来	予防接種 (午後)					
整形外科		古川浩三郎		古川浩三郎		古川浩三郎
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

### ●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- 受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和6年1月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認ください。

### ●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)

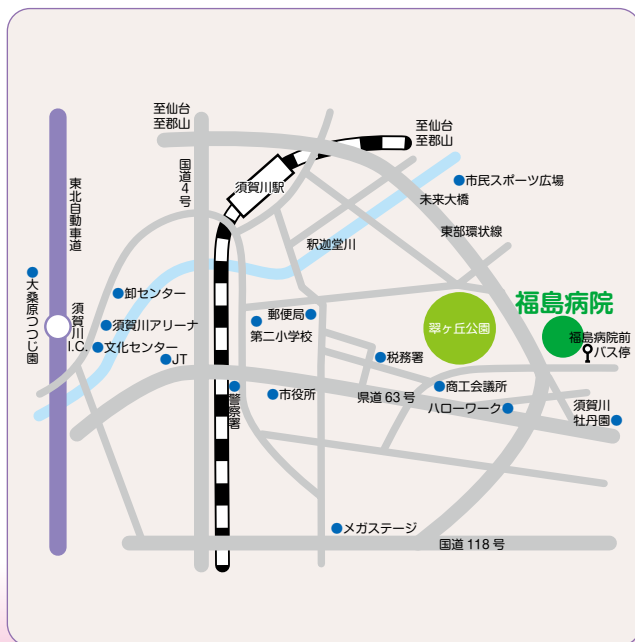
診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

**専用ダイヤル 0248-75-2259**

### ●編集後記●

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。まだ余震が続いており予断を許さない状況が続いておりますが、被災地域の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、生活もコロナ禍前に戻りつつあります。今年は十干で甲の年ですので、コロナ禍前に戻ることだけを目的とせず、これから始まる年にできればと思います。(W・T)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地  
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>